

SDGsへの取り組み

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）

2015年9月、国連本部で開催された「持続可能な開発サミット」において、国連加盟国は「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択しました。そのアジェンダに含まれているのが、2016年から2030年までを対象期間とする「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）」です。

SDGsは、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成され、途上国や先進国に関わらず世界共通の課題として、地球上の誰一人取り残さないことを目指しています。

SDGsでは、各国の政府や地方自治体、国際機関、地域組織、教育機関等による活動推進に加え、民間セクターも重要な役割を果たすことが期待されています。








新光電気グループにおけるSDGs推進

当社は、1946年（昭和21年）に、戦後の混乱期にあつて地域の雇用を守ることを主な目的として、使えなくなった電球の再生・リサイクル事業からスタートしました。新光電気グループは、その後も今日に至るまで、地域社会との共生や地球環境への配慮、人への温かさ等を常に念頭においた事業運営を一貫して行ってきました。

地域への貢献や資源の有効活用を目的として創業した当社のルーツより、今日に至るまでの経営における理念や姿勢は、気候変動への対応や持続可能な生産消費形態の確保、働きがいのある人間らしい雇用の促進をはじめとして、SDGsの目標とも方向性を同じくするものです。

新光電気グループは、今後もステークホルダーの方々とのコミュニケーション等を通じ、当社グループが果たすべき役割への認識を深め、持続可能な社会の実現に貢献すべく、SDGsの達成に向けた取り組みを進めてまいります。

なお、SDGs目標に対する新光電気グループの主な取り組みは、以下の通りです。

SDGs目標		新光電気グループの主な取り組み
	ジェンダー平等の達成	◆女性の活躍推進に向けた取り組み (キャリア形成支援・就労環境整備等)
	持続可能な経済成長と働きがいのある人間らしい雇用	◆人権尊重の取り組み ◆多様性尊重、ワークライフバランスの取り組み ◆安全・快適な職場環境づくり
	持続可能な生産消費形態確保	◆原材料・水資源の使用量削減の取り組み ◆廃棄物排出量削減の取り組み ◆化学物質排出量削減の取り組み
	気候変動とその影響を軽減するための緊急対策	◆CO ₂ 排出量削減の取り組み ◆資源・エネルギー使用量削減の取り組み ◆グリーン調達活動の推進
	陸域生態系保護、生物多様性損失阻止	◆「森林（もり）の里親促進事業」への参画 ◆使用済みプリペイドカード等の寄付を通じた植林活動への貢献

具体的なSDGsへの取り組み事例

🌿 「森林（もり）の里親促進事業」への参画

生物多様性、生態系保護活動の一環として、長野県が推進する「森林（もり）の里親促進事業」に参画し、これまでに長野市鬼無里地区や飯綱町において活動を実施してきました。

飯綱町とは2014年10月に「森林（もり）の里親契約」を締結し、労働組合とともに同町霊仙寺湖周辺の町有林の森林整備を進めてきました。毎年、社員や社員家族が参加し、苗木の植樹や下草刈りなどの森林整備を年2回実施しています。2019年10月には、飯綱町と5年間の契約更新を行い、同地区においてさらなる森林整備の推進をはかることとしました。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を制限せざるを得ない状況が続いていますが、中長期的な観点より本活動を推進することを通じて、SDGs目標への貢献を果たしてまいります。



〔2019年6月の植樹活動〕



〔飯綱町との契約更新を記念した看板〕

🌿 SDGsをふまえた開発活動

当社では、SDGs目標を念頭においた多様なテーマについて、開発活動に取り組んでいます。SDGs目標に沿った代表的な取り組みは以下の通りです。

【当社における開発活動】

